

2023年度（令和5年度）

事業報告書

社会福祉法人 星谷会

社会福祉法人星谷会 2023年度事業報告

= 目 次 =

社会福祉法人星谷会 事業報告	2
星谷学園・星谷デイさくら 事業報告	11
計画相談支援事業所ほしや 事業報告	16
あまいろ 事業報告	17
地域活動支援センター結夢 事業報告	19
結夢+ 事業報告	21
SELPビナ 事業報告	22
海老名市障害者第一デイサービスセンター 事業報告	26
海老名市障害者第二デイサービスセンター 事業報告	31
海老名市障害者支援センターあきば 事業報告	35
グループホーム事業報告 (みずき・しおん・とんぼ・かぶとむし・はなきりん・てんとうむし・ほたる)	38
ホームいこい事業報告	41
生活支援センターステップ事業報告	43

2023年度 社会福祉法人星谷会事業報告

1. 2023年度星谷会事業実施状況

2023年度星谷会においては重点目標を中心に次の事業を展開した。

- ① 三デイの指定管理について、海老名市から引き続き受託し事業を実施した。
- ② 4月にはNPO法人ステップとの事業を星谷会で継承し新しい体制で事業を実施した。
- ③ 感染症関係では2023年5月に、新型コロナウイルスが5類に移行したが、利用者・職員が新型コロナウイルス感染するなど予断が許せない状況は続いた。感染症予防に留意しながら各事業所で行事等の活動が再開した。
- ④ 主任会議を中心にBCPを作成し、危機管理体制に進展も見られた。
- ⑤ 6月には理事・監事の改選が行われ、現役員が引き続き法人の事業運営を実施した。
- ⑥ 星谷会全職員が守るべき事項として「職員行動指針の作成及び、就業規則にあおぞらプランの遵守を取り入れる」の取り組みを実施した。基本的な利用者の権利擁護の取り組みとして「障がい者虐待防止の推進や身体拘束等」の研修会を実施した。
- ⑦ 星谷学園において、県意思決定支援実践研修を実施した。
- ⑧ 2023年11月21日22日神奈川県指導監査・実地指導。海老名市法人監査を実施。

3. 2023年度の主な事業内容

【事業所の運営】

- (1) 星谷学園、星谷デイさくら、SEL Pビナ、あまいろの運営
- (2) グループホームみずき及びはなきりん・ホームいこいの運営（10住居）
- (3) 計画相談支援事業所ほしやの運営
- (4) 生活支援センターステップの移動支援・レスパイトサービスの運営

【指定管理制度による事業】

- (1) 海老名市障害者第一・第二デイサービスセンターの運営
- (2) 海老名市障害者支援センターあきばの運営

【委託による事業】

- (1) 地域活動支援センター事業及び相談支援事業の実施（結夢の運営）
- (2) 結夢+の運営
- (3) 海老名市自立支援協議会の運営（事務局）

【法人運営・財務】

- (1) 学園積み立て 第一、第二、あきば人件費の積立
- (2) 不動産の基本財産算入と定款変更
- (3) 星谷学園・SEL P ビナ給食委託業者選定プロポーザル

【職員処遇】

- ・一般行動計画書の策定について
- ・福祉・介護職員処遇改善・特定処遇改善並びに処遇改善臨時特例交付金ベースアップ加算の実施
- ・健康診断等の実施

【施設・設備整備など】

- ・星谷学園駐車場土地の購入及び駐車場の整備
- ・星谷学園増築

【その他の事業】

- (1) 地域貢献事業：お米一合運動を実施。神奈川フードバンク及び海老名市と連携をとる。
- (2) 12月キラ星コレクション」海老名市役所ロビーにて開催。
- (2) 地域生活サポート事業
 - ①地域防災拠点事業 防災備品の整備等
 - ②地域交流等支援事業 かつぱ堂（農福連携野菜の無人販売棚、地域収穫体験）
- (3) 製品販売やショップを通じた交流事業
 - ①イベント開催：えびなこの街で暮らそう
 - ②実習生・ボランティア受け入れ
- (4) 地域障がい者団体等との交流及び連携事業
 - ・福祉講演会の実施（2024年1月）

4. 利用契約及び職員配置状況

事業所	本部	星谷学園	デイさくら	あまいろ	SELPピナ	相談ほしや	結夢	結夢+
契約者数	—	48	15	14	41	14	375	190
常勤	3	28	4	4	6	(兼4)	5	3
非常勤	0	17	4	6	4		2	1
計	3	45	8	10	10		7	4

事業所	レインボー	かつぱ堂	あきば	みずき	はなきりん	いこい	センターステップ	計
契約者数	44	40	68	25	23	12	83	992
常勤	9	5	13	4	3	1	(1) 兼務	88
非常勤	6	8	18	20	18	26	4 (1) 兼務	134
計	15	13	31	24	21	27	4	222

5. 2023年度神奈川県法定研修受講状況

(1) 神奈川県サービス管理責任者等研修

研修名	受講者	備考
県サービス管理責任者等更新研修	須藤・内田（あきば）	

(2) 神奈川県相談支援従事者研修

研修名	受講者	備考
県相談支援従事者現任研修	佐藤雪雄・飯島兼人（結夢）	KCN

(3) 神奈川県サビ児管研修及び相談支援従事者等研修ファシリテーター

ファシリテーター
三澤貴広（学園） 谷岡裕子（結夢） 河原雄一（学園） 長峰浄子（デイさくら）

6. 法人委員会の活動状況

(1) 研修委員会

階層別研修

研修名	対象者	テーマ・内 容	講師	実施時期	会場
初任者研修	勤務4年未満 参加者数 20名	「支援計画（アセスメント）」 個別支援計画作成に関して今回はアセスメントについて講義&演習にて理解を図る。	河原雄一氏 (星谷会理 事長)	8月30日 (水) 18:00～	海老名市 文化会館 351
中堅職員研修	4年以上 8年未満 参加者数 20名	「モチベーション向上について」 講義と演習によりモチベーション向上の取り組みや考え方の理解を図る。	一色秀志氏 (株プライマ リーコンサル ティング)	11月17日 (金) 18:00～	海老名市 文化会館 351
上級職員研修	勤務8年 以上 参加者数 22名	「人材育成について」 講義と演習により人材育成についての理解を図り、実際の職場での育成に生かしていく。	松川達也氏 (ツツイグ ループ室 長)	12月22日 (金) 18:00～ 20:00	海老名市 文化会館 351
主任&管理者研修	新主任者 新管理者 参加者 4名	「主任&管理者研修」 1回目 法人の主任職、管理職についての職務、職位、役割等を講義と演習により理解を図る。	河原雄一氏 (星谷学園) 研修委員	10月18日 (水) 17:30～ 19:30	わかば 会館
		「主任&管理者研修」 2回目 法人の主任職、管理職についての職務、職位、役割等を講義と演習により理解を図る。	河原雄一氏 (星谷学園) 研修委員	3月18日 (月) 17:30～ 19:30	わかば 会館

内容別研修（課題別研修）

研修名	対象者	テーマ・内 容	講師	実施時期	
課題別研修	全職員 参加 31名	「精神障害について」 講義と演習により精神障害の特性、対応を理解する。	長見英和 (湘南精神保健 事務所 室長)	1月31日 (水) 18:00～	文化 会館 351
	全職員 参加者 47名	「ハラスメント」 講義と演習によりハラスメントについての理解を図り、ハラスメントのない職場を目指していく。	内島順一氏 (弁護士)	9月22日 (金) 18:00～	文化 会館 351
	全職員 参加者 115名	「普通救命講習Ⅰ」 法人全職員を対象にAEDの使い方、心肺蘇生法等について講義と演習により理解を図り、実際の現場での非常に備えていく。 実施日等については下記の別紙参照	海老名市消防 本部隊員	8月～ 1回/月 13:00～16:00 又は 17:00～20:00	海老名 市消防 署本部

全体研修	全職員 参加者 78名	法人実践報告会 各事業所の実践状況を法人内で報告する機会を持つことにより、それぞれの実践を振り返り、今後の利用者支援の向上につなげると共に、各事業所の活動状況、支援を知り、視野を広げ、各事業所の支援の充実を図る。 発表事業所各20分×3事業所の発表と各10分の質疑応答。	発表事業所 ・レインボー ドリーム ・あきば ・GH・ステップ	2月22日 (木) 18:00 ～20:00	海老名 市文化 会館 小ホール
全体研修 (法人人権委員会主催)	全職員 参加者 数 44名	「障がい者の権利擁護について」 (虐待防止及び身体拘束適正化の基礎理解)	近藤 誠 氏 (社会福祉法人 中央福祉会常務 理事、海老名市 わかば会館館長)	2月26日 (月) 18:00～ 20:00	海老名 市文化 会館 351 会 議室

課題別研修（普通救命講習Ⅰ）の実施日について 受講者計 115名

日 付	時 間	受講者
2023年8/23(水)	17:00～20:00	15名
2023年9/14(木)	17:00～20:00	18名
2023年10/19(木)	17:00～20:00	13名
2023年11/15(木)	13:00～16:00	17名
2023年12/6(水)	13:00～16:00	14名
2024年1/30(火)	13:00～16:00	15名
2024年2/29(火)	17:00～20:00	11名
2024年3/12(火)	17:00～20:00	12名

その他の研修

- ・安全運転講習（ワゴン車）：高齢者及び初任者を対象に運転の適性・技能を確認する。
(6/5実施7名参加)
- ・新採用職員研修：2022年4月採用職員の採用前研修

(2) 人権委員会

就業規則及び職員行動指針にも掲げられている「あおぞらプラン」について、各事業所の職員会議等での読み合せを実施し、人権意識の向上に努めた。

12月に「あおぞらプラン」をベースに作成した「法人人権擁護チェック表」を用いて法人職員全体の支援を振り返る機会を設けた。また、実施後、各事業所の集計と法人事業所全体の集計を作成し、人権委員が中心となり、各会議で共有する事で支援課題を共通認識する機会を設けた。

2月26日に人権擁護「障がい者の権利擁護について」（虐待防止及び身体拘束適正化の基礎理解）について、社会福祉法人 県央福祉会 常務理事 近藤誠氏を講師にと招きして、法人全体研修を実施している。

人権委員会については、年8回開催しており、各事業所の権利擁護の取り組みの確認や、身体拘束の現状確認と課題の共有等に関して、話し合いを行っている。また、令和5年度より「生活支援の会 ステップ」が当法人に統合された為、6月にステップの会議にて「法人人権擁護チェック表」を実施し、利用者支援の法人理念について、共有を図っている。

令和6年度の取り組みについては、各事業所職員で構成する「人権委員会」と主に管理者で構成する虐待防止、身体拘束適正化に特化した「虐待防止委員会」「身体拘束適正化委員会」（両委員会の名称は人権擁護委員会）に分かれて実施していくこととしている。その為、各委員会の役割及び構成員を整理し、組織図を作成している。

(3) 採用チーム委員会

今年度も新卒学生のニーズに柔軟に対応するため、説明会は対面方式とWEB方式で開催しました。また、参加学生との連絡をスムーズに進めるために『LINE』を活用し、フットワークの良さを重視しました。一次面接を通過した学生には、別々の事業所で2日間の現場での実習も体験して頂き、互いのミスマッチを防ぐと共に、現場職員との接点を大切に進めました。もちろん、中途採用にも力を入れ、対面での合同就職会や各種イベントへ積極的に参加した。

内定式は、今年度も『WEB内定式』とし、法人内事業所の特色を活かした記念品をチームメンバーが心を込めて内定証書と一緒にラッピングし、内定者宅へ内定式当日前までに郵送して、内定式内でそのギフトを開封してもらいました。その記念品を通して内定者との会話を弾ませることが出来た。

委員一同力を合わせて求人媒体の内容を充実させ、説明会参加学生へ手厚く対応しましたが、新卒2名と中途3名と厳しい常勤採用となりました。

また、今年度も採用チームが新卒職員のフォロー役として、イベントや交流会、同期同士で話をする機会等を設け職場定着に努めた。

実施日	内容	目的・意図
5/24(水)	新入職メンバーとの絆を深める 近況報告と同期懇親会	・同期同士での親睦を深める。 ・新人の悩み・戸惑いなどを聞きアドバイスを。
11/24(金)	みんなで楽しく体を 動かして、リフレッシュ♪	・スポーツ（モルック）や人狼ゲームを通して、 交流を深める。 ・1年先輩の職員にも参加してもらい、事業所間の垣根を超えた交流を図る。
2/20(火)	1年の振り返り&デザート会食 新人同士でのフリートーク	・チーム職員と共に1年間を振り返る。 ・同期同士での親睦を深める。

(4) 定着支援チーム

法人の職員定着率を高めるための取り組みとして法人で実現できていること・取り組みが必要なことを整理し「教育・評価制度」「横のつながり・交流」について、具体的な企画を立案して目標設定達成システムの検討を行った。又中堅職員（1年以上8

年未満)を対象にした事業所の枠を越えた職員間の交流を図り、共に支え合っていく関係構築を目指した職員交流会「みんなでつくろう☆ほしやネット」を12/7(水)に開催した。当初2回開催を計画していたがコロナの感染状況により1回のみで開催となった。

(5) リスク管理委員会

今年度も新型コロナウイルス感染拡大状況により、委員会開催は7回であった。安全点検チェックは2事業所で実施した。

事故報告件数 : 195件 363件 (前年度比-168件)

ヒヤリハット件数 : 145件 230件 (前年度比-85件) ()内は前年度数

内容	事故件数	ヒヤリ件数	内容	事故件数	ヒヤリ件数
転倒・怪我	38(97)	41(59)	所在不明	9(10)	12(13)
服薬	25(30)	11(33)	金銭	2(3)	4(1)
器物破損	21(30)	6(20)	誤食・異食	9(17)	10(9)
車両	7(23)	1(1)	紛失	6(7)	15(16)
他傷	50(98)	13(34)	衛生・環境	1(3)	2(3)
確認・連絡	11(18)	12(20)	誤嚥	1(3)	1(3)
不適切対応	0(5)	1(2)	その他	11(13)	16(13)
個人情報	4(6)	0(3)	計	195(363)	145(230)

※県・市への報告事故 : 8(2)件 骨折・ひび8件 ※労災事故7(7)件

(6) 防災委員会

10月に法人合同防災訓練を実施、法人本部への情報集約。コロナ感染拡大を考慮し規模縮小し広域避難場所への避難はせず。

引き続き、不審者対応訓練の整備を図っていく

(7) 広報委員会

法人ホームページの更新等、管理運用をした。法人機関紙「カシオペア」を発行した。

(8) 海老名市要望書

①2023年9月に法人から海老名市長あてに要望書を提出。12月に要望事項について継続協議をする回答を得た。

1. 海老名市障がい福祉に係る単独補助金の維持について (継続要望)
2. 移動支援及び日中一時支援事業単独型の単価の見直しについて (新規要望)
3. 結夢・結夢+の委託費の見直しについて (新規要望)
4. わかば会館の将来構想に伴う地域活動支援センター結夢の移転について (新規要望)
5. 少子高齢化に向けた人材確保・育成について (継続要望)
6. 海老名市における相談支援体制について
7. 海老名市における地域生活支援拠点等整備事業の推進について
8. 地域ニーズの把握について (継続要望) その他 (継続要望)

②2023年10月に星谷会とESSネットワークと協働で「物価高騰に関する支援・福祉人材確保」に関する要望書を提出した。物価高騰に関しては市から補助金を受けた。

6. 理事会・評議員会等開催状況

理事会

回	実施日	議案
第 152 回 理事会	5 月 25 日	<p>議題 第 1 号議案 2022 年度事業報告について</p> <p>第 2 号議案 2022 年度決算報告及び監事監査報告について</p> <p>第 3 号議案 福祉充実残額について</p> <p>第 4 号議案 不動産の購入について</p> <p>第 5 号議案 理事・監事の候補者について</p> <p>第 6 号議案 評議員の候補者について</p> <p>第 7 号議案 評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>第 8 号議案 評議員会の開催について</p> <p>第 9 号議案 海老名市障がい者基幹相談支援センターとの業務提携について</p> <p>報告事項 (1) 法人中期計画について</p> <p>(2) 2023 年度処遇改善計画について</p> <p>(3) 虐待通報について</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 次回理事会について</p>
第 153 回 理事会	6 月 16 日	<p>議題 第 1 号議案 理事長の選任について</p> <p>第 2 号議案 業務執行理事の選任について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 星谷学園の給食業者プロポーザルについて</p> <p>(2) 法人本部固定資産の移管について</p> <p>(3) 星谷学園エレベーターの改善工事について</p> <p>その他 次回理事会について</p>
第 154 回 理事会	10 月 26 日	<p>議題 第 1 号議案 2023 年度第一次補正予算について</p> <p>第 2 号議案 不動産の基本財産算入と定款変更について</p> <p>第 3 号議案 星谷学園・SELP ビナ給食委託業者選定プロポーザルの結果について</p> <p>第 4 号議案 星谷学園生活介護の定員変更について</p> <p>第 5 号議案 定時評議員会の開催について</p> <p>報告事項 (1) 2023 年度理事長及び執行理事の業務報告について</p> <p>(2) 法人指導監査・実地指導について</p> <p>(3) 一般行動計画書の策定について</p> <p>(4) 最低賃金の適用について</p> <p>(5) 高齢者再雇用制度の検討について</p> <p>その他 次回理事会について</p>

第 155 回 理事会	2 月 2 日	議題 第 1 号議案 事業開発用地の購入について 第 2 号議案 その他 報告事項 (1) 次回理事会について (2) その他
第 156 回 理事会	3 月 14 日	議題 第 1 号議案 2023 年度第二次補正予算について 第 2 号議案 2024 年度事業計画について 第 3 号議案 2024 年度当初予算について 第 4 号議案 定款変更について 第 5 号議案 管理職員の異動・選任について 第 6 号議案 役員賠償責任保険の契約について 第 7 号議案 指導監査通知の回答について 第 8 号議案 処遇改善加算の統一化について 第 9 号議案 評議員会の開催について 第 10 号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第 11 号議案 虐待防止・身体拘束指針の一部改定について 第 12 号議案 星谷デイさくら活動室増築について 報告事項 (1) 理事長及び業務執行理事の業務報告について (2) 理事会・評議員会の年間予定について その他 (1) 次回理事会について

評議員会

回	実施日	議 案
第 81 回 評議員会	6 月 16 日	報告事項 報告 1 新評議員について 報告 2 2022 年度事業報告について 報告 3 法人中期計画について 報告 4 その他 議案 第 1 号議案 2022 年度決算報告及び監事監査報告について 第 2 号議案 福祉充実残額について 第 3 号議案 不動産の購入について 第 4 号議案 理事・監事の選任について その他 (1) 次回評議員会について
第 82 回 評議員会	11 月 14 日	報告事項 報告 1 法人指導監査・実地指導について 報告 2 一般行動計画書の策定について 報告 3 星谷学園・SELP ビナ給食委託業者選定プロポーザルの結果について 議案 第 1 号議案 2023 年度第一次補正予算について 第 2 号議案 不動産の基本財産算入と定款変更について その他 (1) 次回評議員会について
第 83 回 評議員会	3 月 22 日	報告事項 報告 1 管理職員の異動・選任について 報告 2 役員賠償責任保険の契約について 報告 3 指導監査通知の回答について 報告 4 処遇改善加算の統一化について 報告 5 評議員選任・解任委員会の開催について 報告 6 虐待防止・身体拘束指針の一部改定について 報告 7 理事会・評議員会の年間予定について

		議案 第1号議案 2023年度第二次補正予算について 第2号議案 2024年度事業計画について 第3号議案 2024年度当初予算について 第4号議案 星谷デイさくら活動室増築について 第5号議案 定款変更について 第6号議案 法人事業計画用地の購入について その他 (1) 次回評議員会について
--	--	---

運営協議会

回	実施日	議 案
第6回 運営協議会	11月30日	2. 議事 (1) 2022年度業報告及び決算報告 (2) 2023年度事業の状況 (3) その他 意見交換等

2023年度 星谷学園・星谷デイさくら事業報告

1. 重点課題の取り組み状況

(1) アフターコロナの取り組み

- ・日帰り外出、地域交流のイベントへの参加を再開した。星谷まつりについては家族を招いて開催をして地域の方々の参加については見合わせた。
- ・短期入所については、人数制限をして、日中一時については時間制限を設けてのサービス利用を開始した。
- ・新型コロナワクチン予防接種の実施や消毒、活動スペースのエリア分け等基本的な感染対策を継続し感染予防に努めたが、2月27日から3月14日に入所利用者が38名、支援員が11名新型コロナウイルスに感染してクラスターが発生した。幸いに罹患者皆さん重症化することなく回復されている。

(2) 利用者の権利擁護等の取り組み

- ・虐待防止に向けた取り組みに関しては、法人の虐待研修への参加やおぞらプランの定期確認、全体会議等での定期的な振り返りを通して支援のあり方を検証した。
- ・身体拘束防止に向けた取り組みについては、身体拘束の在り方について運営会議等で定期的に検証した。また、安全上、身体拘束が必要なケースでは医師とも相談し、必要以上の制限がないよう配慮した。
- ・意思決定支援に基づいた個別支援計画の作成
神奈川県の意味決定支援推進事業を活用しアドバイザーによる3ケース(入所利用者)の意味決定支援の実施を行い支援員のスキルアップを図った。

(3) 高齢化に合わせた支援の提供

- ・高齢化に合わせたプログラムや活動場所の見直し
- ・定期的な個別支援計画のモニタリング時に食事評価を実施し状態に合わせた食事を提

供し事故防止を図った。

- ・利用者の安全を確保すると共に支援員の負担軽減を図る。
- ・施設内（入所棟）の浴室のバリアフリー化の検討を行った。

(4) 人材育成

- ・GSVでのケース検討を4回（入所利用者2名、通所委利用者2名）行い支援員の支援力の向上と利用者支援の充実を図った。
- ・介護技術支援検討チームの立ち上げは行えなかった。
- ・強度行動障害基礎研修に支援員を派遣することで専門性を高めた。

2. 施設入所支援の実績

(1) 入所利用者の状況（2023年度末現在）

入所 入退所状況

	男	女	入退所前後の状況
前年度末利用契約者数	20人	20人	
2023年度新規利用契約者数	0人	0人	
2023年度退所利用者数	0人	0人	
2023年度未契約利用者数	20人	20人	

入所 利用状況

年間延利用者数	14440人	1日の平均利用者数	39.5人	年間利用率	98.6%
---------	--------	-----------	-------	-------	-------

入所 年齢構成

平均年齢 57歳（最高 82歳）

20～29	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
0	0	0	1	12	15	7	5

入所 障害等級別状況

A1	A2	B1	B2	身障手帳
23	12	4	0	11

入所 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	平均
0	0	0	0	13	27	5.6

入所 診断名（延人数）

自閉症・自閉傾向	ダウン症	知的障がい	精神障がい	身体障がい
8	4	40	5	11

(2) 短期入所（宿泊）利用状況

（ ）内は前年度比

契約利用者数	実利用者数	年間利用延宿泊日数	利用率
77人	9人	648日（+196日）	44.2%（13.2%↑）

(3) 日中一時利用状況

（ ）内は前年度比

契約利用者数	実利用者数	年間利用延日数	利用率
34人	5人	150日（+31日）	12%（3.8%↑）

3. 生活介護の実績

(1) 利用者の状況（星谷学園・星谷デイさくら）

入退所状況（入所・通所）

	星谷学園		星谷デイさくら		備考
	男	女	男	女	
前年度末利用契約者数	26人	22人	11人	3人	
2023年度新規利用契約者数	0人	0人	0人	1人	
2023年度退所利用者数	0人	0人	0人	0人	
2023年度末契約利用者数	26人	22人	11人	4人	

通所利用者 年齢構成

平均年齢 45歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
学園 (10)	0	1	2	3	3	1	0
さくら (14)	1	1	3	5	4	1	0

通所利用者 障害等級別状況 (重複含む)

判定	A1	A2	B1	B2	身障手帳
学園	7	2	1	0	2
さくら	4	9	2	0	3

通所 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均
学園 (10)	0	0	0	1	5	4	5.3
さく (14)	0	0	0	1	3	11	5.6

(2) 日中活動利用状況 (入所・通所)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
学園提供日	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270
学園	利用者	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
	延数	1,074	1,090	1,083	1,084	1,067	1,047	1,120	1,063	1,100	1,070	1,043	12,841
さくら提供日	20	20	22	21	18	20	22	21	20	19	19	15	237
さくら	利用者	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	(14)
	延数	244	244	260	226	199	227	256	241	234	197	211	174

(3) 日中活動内容

2023年度末現在

単位	グループ名	入所利用者	通所利用者	主な作業内容
星谷学園 生活介護	あさがお	男0名 女0名	男6名 女5名	アルミはがし、タオルたたみ、刺しゅう、運動、散歩、DVDケースクリーニング
	レインボー	男12名 女4名	男0名 女0名	アルミはがし、タオルたたみ、缶つぶし、エコキャップ、散歩、自立課題
	マンボウ	男2名 女12名	男0名 女0名	アルミはがし、タオルたたみ、ししゅう、散歩、運動、自立課題
	ゆくる	男6名 女4名	男0名 女0名	アルミはがし、タオルたたみ、ししゅう、散歩、運動、自立課題
星谷デイ さくら	さくら	男0名 女0名	男12名 女3名	アルミはがし、タオルたたみ、匂い袋、創作活動、散歩、自立課題
他事業所生活介護利用者		女1名 (再掲)		かつば堂

(4) 行 事

星谷まつり	新型コロナウイルス感染症予防策として、外部参加者を除き、入所・通所合同開催で実施。
-------	---

(5) 作業収益

収支額

収入		支出	
作業工賃・自主製品販売等①	192,560円	支給額合計①	191,120円
前年度繰越金②	321円	両替手数料②	1,100円
利息③	0円	次期繰越③	661円
収入総額①+②+③	192,881円	支出総額①+②+③	192,881円
1人当たりの分配金(満額支給者)		3,010円(前年度比-10円)	

(6) 通所方法

施設送迎	家族・外部サービス	自力(徒歩)	計
20人	6人	0人	26人

4. 研 修 (外部)

実施日	研修内容	参加者
6月14日～15日	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	藤田照葉、南雲叙情詩
7月11日～13日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	吉川礼恵
7月18日～20日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	南雲夢衣
8月22日～24日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	川村多恵
9月6日	令和5年度意思決定支援実践報告会	三澤貴広、沼田阿沙美、星義実
11月14日～15日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	川瀬尚大、小倉春奈

5. 給 食

給食は業務委託により提供しており、「郷土料理食」などの特別食を増やした食事提供に努めた。また新型コロナウイルスによる影響から密を避けた食事提供となり、配膳車や衛生用品などの導入や入れ替えを行い、以前より衛生面への配慮がされた給食提供を行えるようになった。

利用者の食事形態、トロミ剤や補助食品も見直し、「食べやすさ」を心掛けている。栄養ケア計画を作成し入所者の栄養管理を行い、栄養状態を定期的に記録・評価し必要に応じて計画の見直しを行った。

6. 健康管理

日々の心身の健康状態の把握、服薬状況の確認、医師やその他の専門家との相談、健康・給食委員会による情報提供などにより適正を期した。またリウマチ治療については、施設内での看護師による皮下注射を継続して行っている。

定期検診等の実施回数

内科検診	歯科検診	健康診断	体重測定	予防接種	往診歯科
10回	1回	1回	12回	4回	20回

医務室活動状況（利用者診療状況）

	内科	精神科	外科	整形外科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿器	その他	
利用者通院延回数	222	362	9	22	347	14	9	266	4	0	1255 (↓)

入院の状況

利用者	入院期間	入院日数	入院理由
女性入所者1名	12/29～1/15	16日	低ナトリウム血症

※入院日数は入退院日を除く

7. 衛生管理

衛生管理については、清掃パート職員を中心に、園舎内の清潔に努めた。また、新型コロナウイルス対策として次亜塩素水や界面活性剤を使用し日常的に生活環境のふき取り消毒を行った。

日々の洗濯物は利用者や職員が実施した。（新型コロナ感染予防のためボランティアの活用は自粛した）美容・理容については、施設内で美容師による理髪を低料金で実施した他、利用者の希望により地域の美容院を利用した。

8. 防災対策

地震等の災害に備え今年度は、避難訓練とは別に発電機等災害備品の取り扱いについて、職員への周知徹底を目的に複数回訓練を実施していった。

難訓練

実施日	項目	内容
5月12日	避難訓練	地震と火災想定（平日日中）
6月17日	通報訓練	地震想定（休日夜間）
7月7日	通報訓練	火災想定（平日日中）
8月25日	避難訓練	風水害想定（平日日中）
10月2日	法人合同防災避難訓練	地震想定（平日日中）
12月1日	避難訓練	平日日中での地震（震度5強）と火災想定

防災訓練

実施日	項目	参加職員数
5月24日	施設内設備場所、機械操作の方法確認	17名
11月24日	施設内設備機械操作の操作方法確認、消火訓練	6名
2月1日	不審者対応・さすまた体験	22名

9. オンブズパーソン相談状況

1名のオンブズパーソンが来園し利用者からの相談を受けた。施設側への要望は0件、傾聴が主となっている。コロナ対応で外来者の制限をした為、数回のみの実施となった。

オンブズパーソン活動実績

訪問日	オンブズパーソン	相談者	要望書件数
10日	延べ10人	延81人(+56)	0件(±0)

相談内容：人間関係 42件 職員 20件 食事 38件 仕事・作業 29件 設備 2件 その他 79件

10. 危機管理等

設置されているAEDと同じデモ機を使って緊急蘇生法の研修を行った。また、誤嚥時の異物除去研修や嘔吐物処理についても研修を実施している。

ひやりはっと・事故報告について、部署毎、運営会議、全体会議にて、定期的に検討し周知した。

1 1. 苦情・要望について

特になし。

2023年度 計画相談支援事業所ほしや事業報告

1. 重点目標への取り組み

(1) モニタリングの充実

コロナ禍ではあったが、星谷学園を訪問し面談を行い、サビ管だけでなく支援担当者とも情報共有を行うことでモニタリングの充実を図った。2023年度については意思決定支援についても連携を図った。

(2) 相談支援員の育成

コロナ禍ということもあり研修への参加は見合わせたが、モニタリングの際は管理者の助言をおこなうことで相談スキルの向上を図った。

2. 契約者数および計画作成数

契約者数

	契約者
2023年度末	14

計画作成数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
サービス等利用 計画作成数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モニタリング 作成数	1	5	1	1	0	2	0	1	1	0	2	1	15

2023年度 あまいろ事業報告

1. 重点課題の取り組み状況

(1) 自閉症支援の質の向上

会議日以外にも非常勤を含めた活動室別のミーティングを開催し、利用者の状況理解と支援について話し、支援の統一を図った。スーパーバイザーによるケース会議を開催し自閉症支援の知識向上に努めた。

(2) 本人支援

他サービス事業所との関係者会議を開催し本人理解の共有に努めた。

(3) 安全配慮

BCP 作成を通じて感染予防の知識向上に努めたが、1月に事業所内でインフルエンザの流行があった。

2. 利用状況

入退所状況 新規利用者は4月に1名、退所者は1月に1名となった。

	男	女	入退所前後の状況
前年度末利用契約者数	9人	5人	
2023年度新規利用契約者数	1人	0人	支援学校卒
2023年度退所利用者数	1人	0人	死去
2022年度末契約利用者数	9人	5人	

月別利用状況

3ヶ月の長期入院者と、利用者退所があり延べ利用者数は前年度より減少となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日	21	21	23	21	19	21	21	21	21	20	20	21	251
契約者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14
延べ利用数	250	248	270	242	204	226	257	238	236	213	216	227	2827

※延べ利用者数 前年比7減

送迎利用状況

事業所送迎	家族送迎	他サービス利用	計
4名	3名	4名	14名

年齢 3月末

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	計
男性	1名	4名	4名	9名
女性	0名	3名	2名	5名

障害等級別状況

A1	A2	B1
9	4	1

障害支援区分

区分4	区分5	区分6	計
1名	1名	12名	14名

重度障害支援加算対象者 12名

障害

自閉症	その他	計

13名	1名	14名
-----	----	-----

3. 活動内容

作業収入

項目	金額
タオル	138,985 円
ちらし	8,400 円
アラミド	1,689 円
アルミ缶	5,550 円
除草作業	54,260 円
収入計	208,884 円

工賃支払い2回(4月・10月) 1日当たり約73円 全日通所者18,310円(年間)

4. 給食

利用者の楽しみとなるよう偏食に配慮した給食提供に努めた。

5. 健康管理

看護師による体重測定と血圧測定を毎月実施した。嘱託医により新型コロナウイルスワクチン接種を2回(6月、11月)と、インフルエンザ予防接種(11月)を実施し、感染予防に努めたが、1月にインフルエンザの流行があり利用者5名、職員2名が感染した。

6. 防災

避難訓練を3回実施した。

避難訓練実施日	内容
7月24日	避難訓練(火災想定 通報・消火訓練)
10月2日	法人合同避難訓練(地震想定) 2次避難実施なし
3月1日	避難訓練(風水害想定)

7. 苦情・クレーム

クレーム1件。「歩行活動参加により足の痛みが悪化した。」説明と謝罪を行った。

8. 研修(外部)

日程	研修名	研修主催	参加者
6/27	BCP策定研修 WEB	神奈川県	赤塚
7/28・12/8	苦情解決研修会 WEB	かながわ福祉サービス運営適正化委員会	安部
7/27	新任職員人権研修	県知的障害施設団体連合会	木谷
7/29～8/3	自閉症療育者のためのトレーニングセミナー	神奈川県自閉症親の会	秋山
12/15	県央東地区新人研修「回復力をあげていこう」	県央東地区	木谷
12/13	BCP策定研修 WEB	神奈川県	安部

9. 今後の課題

(1) 支援の質の維持

・新しい職員が半数を占めることになるため、研修を行い自閉症の知識を向上し利用者理解を高める。また実際の支援の場での伝達を丁寧にし、支援の質を維持していく。

(2) 災害対策

・BCPについて職員間で共有し、感染症や災害が発生した想定での訓練を実施し、災害の備えについて強化していく。

2023年度 地域活動支援センター結夢事業報告

重点課題への取り組み

- (1) 環境整備とニーズに合わせた活動プログラムの検討
 地域活動支援センター結夢では、毎年約20名の新規登録者があり、また就職や他事業所に挑戦するメンバーもいて、利用するメンバーは常に流動的で顔ぶれが代わっている。その色々なメンバーのニーズにあったプログラムを調整（ミーティング、意見箱）しながら企画していくことを目指していく。以前取り組んだ他事業所との交流については、今年度取り組めるように調整していきたい。
- (2) 医療的ケアのある障がい児・者のサービスの拡大の模索
 医療的ケアの必要な障害児・者へのサービス拡大については、各事業所の情報を収集しながら連携を図ることを意識した。
- (3) 本人ニーズに合わせたサービス調整
 サービス提供事業所の事業内容の把握や情報収集を行い、本人の障がい特性に合ったサービス提供につながるよう支援した。また計画のモニタリングを通して意向の見直しを図っていった。
- (4) 自立支援協議会の充実による地域の体制づくり
 市や関係機関と協働し、自立支援協議会を実施すると共に各協議会チームからの課題の整理、情報共有を通してネットワークの強化を図っていった。
- (5) 海老名市障がい者基幹相談支援センターとの業務提携
 2023年6月、海老名市から海老名市社会福祉協議会が受託した上記センターと星谷会との間で業務提携を締結した。相談支援専門員2名がセンターの運営・困難事例への対応・ケース検討等を実施した。

2. 実績

(1) 地域活動支援センター事業

①登録者数（2024年3月31日現在）（前年度比較）

精神	知的	身体	高次脳	発達	重複	その他	計
106(-32)	42(±0)	9(-3)	3(±0)	7(-1)	5(+1)	0	172(-35)

*障がい名が明らかでない人を「その他」で分類

②ゆうむスペース利用状況

実施日数：255日 延べ利用者数：2416人 1日平均：9.47人

(前年度比較 255日 2211人 8.67人)

精神	知的	身体	高次脳	発達	重複	難病	その他	計
1836	388	36	14	142	0	0	0	2416

③活動プログラム実施状況 実施回数：125回 延べ利用者数：765人（1回平均：6.12人）

(前年度比較 127回 692人 5.44人)

プログラム	実施回数	参加延べ人数	プログラム	実施回数	参加延べ人数
寺子屋	17	31	ゆうむシアター	12	46
パソコンチャレンジ	8	8	調理	23	177
満福亭（生活教室）	23	159	かかし作り	4	19

ミーティング	12	100	歌声ゆうむ	3	28
みんなでモーニング	5	31	クリスマス会	1	12
みんなでランチ	5	38	お汁粉を食べよう	1	12
みんなで晩御飯	1	7	初詣	1	9
きら星コレクション	1	6	ハロウィン	1	12
職場体験（菓子作り）	2	25	地域拠点事業	2	19
お茶ん歩	1	5			

④地域交流支援事業実施状況

障がい者等が、地域社会の一員として、積極的に地域との交流を行い障がい理解の促進を図る事業

11/21, 22 1/16, 17 1/25, 2/1	市内中学生職業体験（有馬中） 市内中学生職業体験（海老名中） 市内中学生職業体験（柏ヶ谷中）	延べ6名参加 延べ7名参加 延べ10名参加（含支援級3名）
------------------------------------	--	-------------------------------------

⑤地域拠点事業実施状況

地域の拠点とし広く門戸を開き、障害の有無に関わらず（総合支援法の対象外でも支援が必要と認められる者）受け入れを行なう事業

3/12 3/29	「満福亭（ミニコンサート）」 「カラオケ」	9名参加 10名参加
--------------	--------------------------	---------------

⑥制度のはざま対応事業実施状況

発達障がい者、高次脳機能障がい者等の相談支援や交流促進を図る事業

発達障がい	22人	相談：延べ77件	地活：延べ142回
高次脳機能障がい	11人	相談：延べ175件	地活：延べ14回

(2) 相談支援事業の実績

①相談状況（前年度比較）

相談状況	実相談者数	相談件数（延べ）	マネジメント	ケア会議
件数	412人（+21）	2414（+364）	3215（+290）	48（-19）

②月別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	227	192	243	245	206	178	202	158	171	163	203	226	2414
マネジメント等	228	242	360	305	410	219	284	252	195	183	274	263	3215
ケア会議	1	7	7	4	5	4	2	4	2	4	5	3	48
計	456	441	610	554	621	401	488	414	368	350	482	492	5677

③相談内容

相談内容	制度・サービス利用	障がいの理解	医療	家族関係 人間関係	家計・経済	不安の解消	住環境	教育
件数	1849	14	136	89	47	112	29	0
就労	権利擁護	他機関やサービスへの不満		その他	合計			
19	5	13		101	2414			

④相談方法

方法	電話	訪問	面接	同行	その他	計
件数	1205	693	246	68	202	2414

⑤障がい種別

知的	身体	高次脳	発達	精神	重複	難病	その他	計
2211	1493	175	77	1030	546	132	2	5677

⑥サービス利用計画作成の状況（2024年3月31日現在）（前年度比較）

知的	身体	高次脳	発達	精神	重複	難病	計
125	33	4	7	7	25	2	203 (+14)

2023年度 相談支援事業所結夢+事業報告

重点課題への取り組み

(1) 当事者の意思決定や権利擁護の遵守と相談支援技術の継承・研鑽

相談支援専門員に求められる基本的な視点や姿勢について研修や今年度取り組んだ。相談支援技術者研修を通し相談支援の質の向上を図ると共に法人内他事業所支援者にも相談支援についての視点や姿勢について共有を図った。

(2) 計画相談支援の充実と社会資源の整理と活用

緊急性の高い相談への迅速な対応に向け、障がい福祉課や他相談支援事業所と情報共有共を図り、よりよい連携につながるように努めた。市内外の社会資源、福祉サービスの情報についても、日々整理しながら必要に応じて資料にするなど、当事者、家族に伝わりやすいように配慮した。

2. 実績

①相談状況（前年度比較）

相談状況	実相談者数	相談件数（延べ）	マネジメント	ケア会議
件数	229	2971 (+630)	4605 (+451)	96 (+12)

②月別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	246	295	313	247	239	207	271	234	242	217	220	240	2971
マネジメント等	425	444	443	331	430	348	373	393	359	375	376	308	4605
ケア会議	4	15	8	7	6	5	14	7	5	7	10	8	96
計	675	754	764	585	675	560	658	634	606	599	606	556	7672

③相談内容

相談内容	制度・サービス利用	障がいの理解	医療	家族関係 人間関係	家計・経済	不安の 解消	住環境	教育
件数	2372	20	114	66	35	235	25	9
就労	権利擁護	他機関やサービスへの不満		その他	合計			
30	2	41		22	2971			

④相談方法

方法	電話	訪問	面接	同行	その他	計
件数	1534	508	344	60	458	2971

⑤障がい種別

知的	身体	高次脳	発達	精神	重複	難病	その他	計
4446	775	124	365	1006	936	20	0	7672

⑥サービス利用計画作成の状況（2024年3月31日現在）（前年度比較）

知的	身体	高次脳	発達	精神	重複	難病	計
131	11	4	13	10	19	2	190 (-18)

2023年度SEL P ビナ事業報告

1. 重点目標に対する課題と評価

【各サービス共通】

○意思決定支援の取り組み

個別支援計画作成時、利用者、家族からの要望を聞き取り、事業所の活動と照らし合わせながら反映させ、実効性のある計画とした。

日中活動については、個々に応じて、その日の健康状態や精神状態を利用者の方に確認しながら提供した。

【就労継続支援B型】

(1) 利用者個々に合わせた作業種の提供や、作業環境の調整を行う。

作業提供については、納期との兼ね合いを見ながら、可能な限り、個々の要望や得意な物を行っていただいていた。

作業環境については、個々に合わせてパーソナルスペースを設ける、1階作業室と2階作業室で活動場所を分けるなど、落ち着いた環境で作業に取り組めるよう、努めた。

(2) 地元企業との関係強化と障がい者理解を図る。

今年度は地元企業からの受注量が増加し、年間平均工賃の増加に繋がった。**(平均工賃23,611円前年度比+2046円)** また、納品及び引き取り時に利用者の方と企業の方との交流があり、双方の理解が深まったと思われる。

(3) 利用者の増員に関する取り組み

えびな支援学校や、座間養護学校の進路担当者との定期的な連絡を取り合い、次年度利用者獲得に向けて調整を図った。また、就業・生活支援センターから男性利用者1名の紹介があり、利用に繋がっている。

【就労移行支援】

(1) 就労へ向けた支援の充実

年度当初、女性利用者1名の利用でスタートしたが、利用者の方の心身の不調が続いたことから、9月末日をもって就労継続支援B型へ移行している。その後については、年度末まで就労アセスメントの利用者以外で利用される方は居ない状況となっており、海老名市内及び近隣市の就労移行利用者や、就労移行支援事業所の現状なども勘案した結果、2024年3月末日をもって、同サービスの終了を決めた。

【就労定着支援】

(1) 就労先企業との連携強化

定期訪問以外でも、就業状況等の確認を行い、連携しやすい関係を構築した。

(2) 継続した就労への支援

企業を定期的に訪問し、業務上の課題や生活上の課題について、利用者、家族、企業と協議しながら、雇用継続に繋げた。

2. 利用状況

月別利用者状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
就労移行	在籍者数	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1	0	0	月平均10.6
	延べ人数	20	21	20	18	18	20	0	4	5	2	0	0	128
就労継続 支援B型	在籍者数	37	37	37	38	38	38	38	38	38	39	37	37	月平均31.7
	延べ人数	650	648	718	661	598	646	679	660	661	649	595	654	7,819
就労定着	在籍者数	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	月平均5.5
	月実績数	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	65

※年間活動日=247日 平均利用率=移行8.6%、B型93.1% (実人数による利用率・就労定着含まず)

入退所の状況

【就労移行】

	男	女	備考
年度当初在籍者数	0人	1人	
2023年度入所利用者数	0人	0人	
2023年度退所利用者数	0人	1人	2023年10月より女性利用者1名が移行よりB型にサービス変更となる。
今年度末在籍者数	0人	0人	

【就労継続B型】

	男	女	備考
年度当初在籍者数	20人	16人	
2023年度入所利用者数	1人	2人	2023年7月に男性1名が入所 2023年10月より女性利用者1名が移行よりB型にサービス変更となる。 2024年1月に女性1名が入所
2023年度退所利用者	1人	1人	2024年1月末日で男性1名、女性1名が就労したことにより退所となる。
今年度末在籍者数	20人	17人	

平均年齢・年齢構成 (2023年度末)

	性別	19以下	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	平均年齢
就労 B型	男性	0	6	7	2	4	1	36.4
	女性	1	6	4	4	2	0	

障害等級別状況

就労継続B型			
A1	A2	B1	B2
4	14	15	7

障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未認定
就労継続B	0	6	12	8	4	1	9

3. 支援内容

(1) 作業活動

受注作業については、昨年度行っていた DVD のクリーニングと CD のリサイクル作業が会社の業務縮小により終了となり、11 社（雑誌の袋詰め、ガス警報器説明書加工、エプロン・タオルたたみ、溶接材加工、水道メーターリサイクル、造花用[ロザフィ]紙材料の生産、ゴム製品の加工、段ボールの組み立て、紙袋の加工、大豆の収穫、除草作業 [神奈川県総合産業技術研究所]）の仕事を請け負った。

(2) 就労会計

項目	金額	項目	金額
企業庁水道局*水道メーター	1,188,000	給与支給(賞与含む)	9,871,425
施設外受託事業*清掃	495,000	仕入れ材料費	96,918
鈴木農園(エコー)	2,280,193	光熱水費	702,735
ライフクリーニング	5,044,828	消耗品費(備品購入含)	96,688
大洋テクノ	632,152	賃借料	353,160
ロザフィ	449,480	外注加工費	259,900
旭段ボール	419,454	通信運搬費	141,630
辰巳合成	348,068	燃料費	338,296
その他	772,039	その他経費	68,462
収入合計	11,929,214		11,929,214

(3) 通所援助

送迎バス(マイクロバス)と送迎車(ワゴン車)を綾瀬市及び海老名市内に2台を走行させ利用者へ送迎サービスを実施した。

通所状況(延べ人数)

電車・バス	送迎車	徒歩	家族送迎	その他
19	22	8	1	0

※e キャット(SELPE ビナの送迎バス)まで公共交通機関を利用する方は、送迎バスと組み合わせる方がいます。

4. オンブズパーソン相談状況

2023 年度については、毎月 2 名のオンブズパーソンによる相談を実施している。

利用者の方の相談内容については、日常生活の事や人間関係などの相談が多く、事業所に改善を求められるような事案は無かった。

5. 給食

昼食は、引き続き、委託業者(株式会社ニチダン)との契約により提供されている。食事形態や食事量の調整など、臨機応変に対応していただいている。

6. 健康管理・衛生管理

利用者の健康管理については、日常的な体調の変化について、連絡帳や電話でのやり取りをした。

その他、6 月(5 回目)と 10 月(6 回目)に新型コロナウイルスワクチン、6/15 健康診

断、11/10 インフルエンザ予防接種、3/4 内科検診を実施している。4/28 内科検診、6/8 健康診断、9/28～30 新型コロナウイルスワクチン 4 回目、11/7 インフルエンザ予防接種を実施している。

7. 作業時の安全管理

作業室内の作業物品管理、整理整頓を日常的に行い、利用者の方が活動する上で、危険の無いよう配慮した。

作業時については、水道メーター作業時、安全靴の着用。除草作業時の水分補給等、体調管理と怪我の防止に努めた。

8. 防災対策

防災については、海老名市の消防機関の指導により適正を期した。また、必要に応じて地震・火災に備えての訓練を実施した。

防災訓練実施状況

実施日	項目	内容	備考
7月19日	消火訓練・通報訓練・避難訓練	地震・火災想定	
8月2日	通報訓練・避難訓練	風水害想定	
10月2日	消火訓練・通報訓練・避難訓練	地震・火災想定	法人全体訓練
12月19日	消火訓練・通報訓練・避難訓練	地震・火災想定	

9. 会計管理

会計管理については、星谷会経理規程、給与規程等に沿った適正な会計処理に努めた。

10. 研修

実施日	研修内容	参加者
7月14日	神奈川県社会福祉協議会新人研修（先輩からのエール）	山口
10月30日	安全運転管理者講習会	白井
11月17日	県央東地区集権研修・モチベーション向上について	稲葉、渡邊、山口

2023 年度 海老名市障害者第一デイサービスセンター事業報告

(指定管理による運営 通称：レインボードリーム)

1. 重点課題の取り組み状況

(1) 個別支援の充実

- ・個別のニーズに応じた多様なプログラム・環境を提供した。長距離歩行を希望される利用者については、個別や小集団で取り組めるよう活動を提供した。身体障害者の支援では歩行器を利用しての歩行練習を定期的実施し筋力の維持などの身体機能維持の一助となった。
- ・表現活動プログラムの一つ「七宝画」の制作を実施した。事業所のガラス面を使用し以前、市内ビナレッジのガラス窓に描いていたガラス絵を事業所内で展開した。利用者自治会を開催し活動等について意見を聞き実施した。
- ・新型コロナウイルスが感染法上の第 5 類に移行し、利用者のこれからの生活の場について、グループホームの見学会等実施を検討したが、インフルエンザの流行等もあり見学会等は見合わせた。今後も利用者自身が「生活の場について考える機会」の提供は継続していきたい。

(2) サービス向上・人材の育成

- ・共有ネットワーク内で支援方法・過程、利用者情報について簡易に共有ができるよう、業務日誌や事業所予定表、ネットワーク上のファイルを改善した。順次更新の必要があり継続が必要。
- ・事業所業務(定型・支援)の事業所基準の明確化についてはマニュアルや支援方法の確認、グループによる利用者アセスメントを実施し、支援基準の見直しを行った。
- ・経験年数を考慮しケース担当のチームを編成し、支援計画作成やモニタリングを行った。支援課題に対しても複数で関われるよう取り組んだ。今後も階層ごとの話し合いについて実施をしたい。
- ・職員会議にて人権についての確認をした。

(3) 職員業務の見直し

- ・支援記録等についてはデータ保存とし閲覧の利便性の向上と印刷物の軽減を図った。
- ・ケース担当を複数にすることによる経験年数の浅い支援員のフォローや多角的側面での利用者を捉えられるよう取り組みをした。小グループでの意見の取りまとめなどの経験を積むことで大きい集団での話し合い等への手がかりを積んだ。

2. 利用状況 (2023 年度末現在)

4 月に生活介護 3 名、就労継続支援 B 型 1 名契約の 46 名でスタートした。9 月末に他市グループホーム利用に伴いに、生活介護利用者 1 名、11 月末に生活介護利用者 1 名が他法人の就労継続支援 B 型事業利用の為に利用契約終了。2023 年度末の利用契約者数は生活介護 35 名、就労継続支援 B 型 9 名となり 44 名であった。

(1) 月別利用者状況

2023年度	4				5				6				7			
	生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型	
	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否
定員	30	30	10	10	30	30	10	10	30	30	10	10	30	30	10	10
契約者数	37	37	9	9	37	37	9	9	37	37	9	9	37	37	9	9
開所日数	20	21	20	21	20	21	20	21	22	23	22	23	20	21	20	21
利用者数	569	581	168	174	572	592	163	169	640	656	188	195	567	590	172	180
利用率契約者	77%	75%	93%	92%	77%	76%	91%	89%	79%	77%	95%	94%	77%	76%	96%	95%
利用率定員	94.8%	92.2%	84.0%	82.9%	95.3%	94.0%	81.5%	80.5%	97.0%	95.1%	85.5%	84.8%	94.5%	93.7%	86.0%	85.7%
延べ利用者数	755				761				851				770			
備考	4/15(土) 開所日				5/20(土) 開所日				6/17(土) 開所日				7/15(土)開所日「音楽フェスティバル」			

2023年度	8				9				10				11			
	生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型	
	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否
定員	30	30	10	10	30	30	10	10	30	30	10	10	30	30	10	10
契約者数	37	37	9	9	37	37	9	9	36	36	9	9	36	36	9	9
開所日数	18	19	18	19	20	21	20	21	21	21	21	21	20	21	20	21
利用者数	524	544	155	162	574	585	164	169	600	600	166	166	618	642	183	189
利用率契約者	79%	77%	96%	95%	78%	75%	91%	89%	79%	79%	88%	88%	86%	85%	102%	100%
利用率定員	97.0%	95.4%	86.1%	85.3%	95.7%	92.9%	82.0%	80.5%	95.2%	95.2%	79.0%	79.0%	103.0%	101.9%	91.5%	90.0%
延べ利用者数	706				754				766				831			
備考	8/26(土) 開所日				9/16(土) 開所日「ものづくり」				土曜余暇無し				11/23(木) 開所日			

2023年度	12				1				2				3			
	生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型	
	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否	余暇減	余暇否
定員	30	30	10	10	30	30	10	10	30	30	10	10	30	30	10	10
契約者数	35	35	9	9	35	35	9	9	35	35	9	9	35	35	9	9
開所日数	20	21	20	21	19	20	19	20	19	20	19	20	20	21	20	21
利用者数	558	584	169	178	530	552	160	166	542	565	157	163	600	578	171	165
利用率契約者	80%	79%	94%	94%	80%	79%	94%	92%	82%	81%	92%	91%	86%	79%	95%	87%
利用率定員	93.0%	92.7%	84.5%	84.8%	93.0%	92.0%	84.2%	83.0%	95.1%	94.2%	82.6%	81.5%	100.0%	91.7%	85.5%	78.6%
延べ利用者数	762				718				728				743			
備考	12/16(土) 開所日				1/20(土) 開所日				2/17(土) 開所日				2/16(土) 開所日			

(2) 利用者状況

年齢分布 (2023 年度末)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計
男性	1	8	6	3	2	2	0	22
女性	3	5	2	4	6	2	0	22

平均年齢

男性平均	35.6
女性平均	40.1

障害支援区分 (2023 年 3 月末)

区分	なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
人数	2	0	0	5	10	16	11

区分なし：2 生活介護平均支援区分： 就労継続支援 B 型平均支援区分：

障害等級別状況 (2024 年 3 月末)

区分	A 1	A 2	B 1	B 2
人数	15	15	11	3

送迎サービス実績

延べ利用件数	12,798 人	前年度比+74 人
--------	----------	-----------

3. 活動内容

様々なメニューを提供し利用者が自分にあった作業・活動を選び、決定できるよう努め

た。作業、工賃確保の為、イベントへ参加し自主製品を販売した。クッキー、ジャムの個別販売など継続的に行い、売り上げの確保を図った。また、作業単価の高いネクスコ日本の除草作業や国分寺跡の除草作を受注し工賃確保に努めた。

行事では一泊旅行、共同で行う調理などは感染症予防の観点から実施を見合わせた。事業所内で季節のイベントの実施、また土曜の休日開所（余暇支援含む）ではレクリエーションやコンサート（和太鼓や金管楽器）なども実施した。日々の活動の中では利用者のリクエストに応じ、楽しみとなるプログラムを提供した。

(1) 受託作業

ダンボール貼り合わせ・組み立て、チラシ折り、エコキャップ、水道メーターの解体、タオルの選別、タオルの配送、市内国分寺跡除草、綾瀬浄水場除草、東名高速道路（ネクスコ中日本）の高架下除草など。

(2) 自主製品・活動

食品加工、七宝画製作、クラフト、レクの日、ダンスの日、運動プログラム、カラオケの日。

(3) イベント

季節の行事、職員販売によるバザーの実施。土曜余暇活動を一部再開した。日帰り外出、一泊旅行などの外出を伴う行事は感染予防の為、中止した。

(4) 地域との連携等

施設内での自主製品や野菜・クッキー・ジャムの販売活動、食品加工品の市や社会福祉協議会、保育園、地域団体等からの受注、市内コミュニティセンターからのエコキャップの搬入、実習者、見学者の受入れなど地域との関わりを図った。地域との交流ではデイサービスセンター合同で開催している「えびなこの街で暮らそう」を開催した。利用者は自由参加とした。地域や看護学校、ボランティアフェスタ、いちごフェア、仲間づくり交流会、メーカーバザーなどに参加した。

4. 作業会計

昨年度に続き工賃の高い国分寺跡除草作業、ネクスコ中日本の高速道路の除草作業を受注し工賃確保につながった。また、食品加工では市、社会福祉協議会からの催事用ギフトの注文やロータリークラブ部、お歳暮、お中元ギフト等の注文販売や事業所での販売も売り上げ確保につながった。受注作業ではタオルの配達が安定して収入確保につながっている。

収入 (単位 円)

SKパック	52,975 円	エコキャップ	1345 円
ASU	58,250 円	野菜販売	12,016 円
ファブリッククリーナーズ	32,340 円	除草作業（中日本高速道路）	161,913 円
たすけ愛ゆずり愛	221,100 円	正月フラワーアレンジメント	50,000 円
除草作業（綾瀬浄水場）	54,260 円	食品加工	1,510,697 円
除草作業（国分寺跡）	466,237 円	七宝画販売	5,225 円
水道メーター	15,000 円	えびなこの街販売	60,663 円
さがみキューズ	7,415 円		
松ぼっくりツリー	900 円	前年度繰越金	21 円
合計	2,710,357 円		

支出 (単位 円)

材料費	779,690 円	利用者賞与	976,249 円
利用者給与	951,100 円	金種指定手数料	3,300 円
合計	2,710,339 円		

収入 (単位 円)	支出	次年度繰越
2,710,357 円	2,710,339 円	18 円

<備考>□全体 (生活介護・就労継続支援B型) : 3,569/月 □就労継続支援B型 : 4,073/月

5. 健康管理・

看護師は月2回出勤。月1回の体重測定、日々の健康観察、年4回の嘱託医検診の他、歯科検診、利用契約者を対象とした健康診断をそれぞれ年1回実施。嘱託医、看護師より健康状態や病気の予防等について助言を受けながら、必要に応じ適宜ご家庭や関係機関と連絡をとり健康管理に努めた。日中活動時においては検温、服薬の支援、状況に応じ通院付き添いサービスを提供した。嘱託医による希望者を対象としたインフルエンザの予防接種、新型コロナワクチン接種を行った。室内消毒等、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症対策を継続した。

6. 防災

「地震」「火災」「風水害」を想定した避難訓練を年5回実施。災害時の役割分担、動きなどの確認、利用者の状態に応じた避難方法を検討し緊急時に適切に対応できるよう努めた。消防設備については年2回の法定点検を実施し消防署に報告。法人研修委員会による消防署での普通救命講習を全職員が受講した。また大規模災害に備え事業所 BCP 計画を策定した。

7. 職員研修

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、外部研修及び集団での研修への参加を控えた。星谷会主催の研修、リモートで行われた研修に参加した。星谷会実践報告会では、事業所移行利用者への支援の取り組みを発表した。また、県による実地指導監査を受診し指摘事項については改善を図った。

支援上の課題については複数ケース担当者制を継続しケース検討、毎日の職員ミーティング等で課題の共有化を図り適宜対応できるよう努めた。

8. ご家族との連携

日々の連絡ノートや電話、送迎時等で利用者の様子をお伝えしたり、ご家庭などの様子を伺い連携を図った。また新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したため、家族会を再開しご家族よりご要望等伺った。家族会については、ご家族の高齢化等により維持・存続が難しくなった為、2023年度末にて解散となった。

9. ボランティアの受け入れ状況

休日開所で楽器奏者のボランティアを受け入れた。日々の活動では感染症予防の為ボランティアの受け入れは見合わせた。

10. 今後の課題

- (1) 主体的な生活が送れるよう利用者の自己選択、決定を支援する。
- (2) 大規模災害への対応。
- (3) 外出等の行事の再開。
- (4) 自主製品作業・活動の見直し。

2023 年度 海老名市障害者第二デイサービスセンター事業報告

(指定管理による運営 通称：かっぱ堂)

1. 重点課題の取り組み状況

(1) 個別支援の充実

- ・毎月の職員会議で利用者の状況を確認し課題や情報を共有し利用者を支援した。
- ・利用者の意見を伺い、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行後には日帰り、土曜余暇、夏祭り実施をした。
- ・長期欠席者への定期的な訪問やオンラインを使つての面談を実施した。

(2) 地域との関わり・繋がりを深める。

- ・地域の清掃を実施した。事業所前で定期的に野菜を販売し地域の方々が多く購入している。地域に向けた収穫体験は実施に至らなかった。地域自治会に継続し入会している。
- ・食と職、海老名笑顔化計画を継続した。

(3) リスク管理の取り組み。

- ・事故やひやりハットのカンファレンスを通し業務改善や手順の見直しを行った。

(4) サービス向上の取り組み。

- ・農園芸作業については利用者、スタッフが行うと共に、野菜の育成や管理などをボランティアにも依頼し野菜の収穫、販売を安定できるよう取り組んだ。収穫したさつまいもの加工販売の為、焼きいもの機材を購入し準備をした。
- ・自主製品のカレンダーについては近隣市の社協の運営する販売ブースに依頼をするなど販路の拡大に努めた。
- ・講師によるドラマサークル活動を継続し活動の拡大を図った。水彩画等の絵を描く活動で作品を作り、作年同様、全国手をつなぐ育成会連合会の機関紙「手をつなぐ」の表紙等の公募に応募した。
- ・休日開所（土日以外の祝日）を2回実施しサービス向上を図った。

(5) 精神障がいの方への利用促進への取り組み。

- ・利用契約を問わず精神障害のある方々を対象に休日の余暇支援を年3回実施し、利用契約のない精神障害を持たれた方の余暇支援の機会を設け、事業所の紹介をした。

2. 利用状況 (2023 年度末現在)

2023 年 4 月に就労継続支援 B 型 1 名と契約し生活介護 27 名 就労継続支援 B 型 13 名でスタートした。2024 年 2 月に就労継続支援 B 型 1 名契約、生活介護利用者 1 名利用契約終了、3 月就労継続支援 B 型 1 名契約、3 月 21 日に 1 名利用契約終了となり、2024 年 3 月末時点での利用契約者は生活介護 26 名、就労継続支援 B 型 14 名であった。

月別利用者状況

2023年度	4				5				6				7			
	生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型	
	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
契約者数	27	27	13	13	27	27	13	13	27	27	13	13	27	27	13	13
知的/精神	26 1		6 7		26 1		6 7		26 1		6 7		26 1		6 7	
開所日数	20	20	20	20	20	21	20	20	22	22	22	22	20	21	20	21
利用者数	406	406	145	145	417	420	141	141	445	445	150	150	410	418	137	140
利用率契約者	75%	75%	56%	56%	77%	74%	54%	54%	75%	75%	52%	52%	76%	74%	53%	51%
利用率定員	101.5%	101.5%	36.3%	36.3%	104.3%	100.0%	35.3%	35.3%	101.1%	101.1%	34.1%	34.1%	102.5%	99.5%	34.3%	33.3%
延べ利用者数	551				561				595				558			
備考	土曜余暇無し 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				5/20(土) 土曜余暇『散歩』 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				土曜余暇無し 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				7/15(土)土曜余暇『花火』 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%			

2023年度	8				9				10				11			
	生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型	
	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
契約者数	27	27	13	13	27	27	13	13	27	27	13	13	27	27	13	13
知的/精神	26 1		6 7		26 1		6 7		26 1		6 7		26 1		6 7	
開所日数	18	18	18	18	20	21	20	20	21	21	21	21	20	20	20	20
利用者数	347	347	114	114	400	405	124	124	432	432	143	143	404	404	135	135
利用率契約者	71%	71%	49%	49%	74%	71%	48%	48%	76%	76%	52%	52%	75%	75%	52%	52%
利用率定員	96.4%	96.4%	31.7%	31.7%	100.0%	96.4%	31.0%	31.0%	102.9%	102.9%	34.0%	34.0%	101.0%	101.0%	33.8%	33.8%
延べ利用者数	461				529				575				539			
備考	土曜余暇無し 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				土曜余暇『散歩』 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				土曜余暇無し 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				土曜余暇無し 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%			

2023年度	12				1				2				3			
	生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型		生活介護		就労B型	
	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉	余暇減	余暇吉
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
契約者数	27	27	13	13	27	27	13	13	27	27	14	14	27	27	15	15
知的/精神	26 1		6 7		26 1		6 7		26 1		7 7		26 1		8 7	
開所日数	20	21	20	21	19	20	19	20	19	20	19	20	20	21	20	22
利用者数	387	393	110	112	374	375	130	132	358	365	135	139	401	387	152	148
利用率契約者	72%	69%	42%	41%	73%	69%	53%	51%	70%	68%	51%	50%	74%	68%	51%	45%
利用率定員	96.8%	93.6%	27.5%	26.7%	98.4%	93.8%	34.2%	33.0%	94.2%	91.3%	35.5%	34.8%	100.3%	92.1%	38.0%	33.6%
延べ利用者数	505				507				504				535			
備考	12/16(土) 土曜余暇『スイーツ』 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				1/20(土) 土曜余暇『ものづくり』 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				2/17(土) 土曜余暇『DVD鑑賞』 精神割合：生活介護3.7%、就B53.8%				3/16(土) 土曜余暇『カラオケ』、3/20(水) 開所日 精神割合：生活介護3.7%、就B46.6%			

(2) 利用者状況

年齢分布 (2023年度末)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計
男性	1	7	5	5	5	2	0	25
女性	0	1	1	2	6	3	2	15

平均年齢

男性平均	41.0
女性平均	54.9

障害支援区分 (2024年3月末)

区分	なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
人数	5	0	3	6	5	15	6

障害等級別状況 (2024年3月末)

区分	A 1	A 2	B 1	B 2	身障 1 級	精神 2 級
人数	5	13	13	3	2	6

送迎サービス実績

延利用件数	7917	前年度比	-1392
-------	------	------	-------

3. 支援内容

利用者の自己決定・自己選択を尊重し、受注作業（タオルたたみ、チラシ折り等）・農園芸・散歩・室内運動プログラム（ダンス・ストレッチ・フラダンス）・水彩画・手芸・カラオケ・ゲーム・買い物等の活動を提供した。講師によるドラムサークルを2か月に1回継続した。綾瀬浄水場、国分寺跡の除草作業や市内、新公建設と共同で「食と職、海老名笑顔化計画」での畑作業を継続し利用者の工賃確保に努めた。

新型コロナウイルスが感染症法上の第5類に移行後、土曜余暇、日帰り外出を実施、またかっぱ祭り、忘年会、海老名この街で暮らそうなどの行事やバザーも実施した。

4. 作業会計

国分寺除草作業、「食と職、海老名笑顔化計画」の事業継続の他、バザー等が再開し売り上げを作業工賃に反映することができた。

収入 (単位 円)

ファブリッククリナーズ	81510 円	内定式記念品（手芸等）	2800 円
A S U	33200 円	国分寺除草作業	466237 円
笑顔化計画（新興建設委託金）	480000 円	カレンダー	65194 円
野菜販売	166564 円	電線リサイクル	2600 円
ドリンク販売	152528 円	看護学校バザー	2600 円
手芸	3800 円	綾瀬浄水場除草作業	54260 円
メーカーバザー	162055 円		
えびなこの街でくらそう	50510 円		
こころのバリアフリー	2300 円	前年度繰越金	17 円
合計	1726175 円		

支出 (単位 円)

材料費	370033 円	利用者賞与	867121 円
利用者給与	482000 円	金種指定手数料・利息	6998 円
合計	1726152 円		

収入 (単位 円)	支出	次年度繰越
1726175 円	1726152 円	23 円

<備考> 1日利用者数平均で算出 就労B型：6.7人 生活介護14.7人 全体：21.4人

就労継続支援B型事業平均工賃：4244円 生活介護・就労継続支援B型：5254円

5. 健康管理・衛生管理

年4回の嘱託医検診、年1回の歯科検診、健康診断、嘱託医による新型コロナウイルスワクチン接種、インフルエンザ予防接種を事業所内で実施した。また必要に応じて通院付き添

いを実施。月2回の看護師巡回の際に血圧と体重の測定を行なった。その際、利用者の健康状態を伝え、アドバイスを受けた。感染症対策として手洗い・うがい、マスク着用・消毒等を励行し、感染対策・予防継続した。

6. 防 災

避難訓練（火災・風水害）、水消火器を使用した消火訓練、通報訓練等、事業所で行った。また法人研修委員会による消防署での普通救命講習を全職員受講した。大規模災害に備えBCPを作成した。

7. 職員研修

感染拡大防止の為、外部研修及び集団での研修への参加を控えた。星谷会主催の研修、リモートで行われた研修に参加した。また、県による実地指導監査を受診し指摘事項については改善を図った。

毎月の職員会議、毎日の職員ミーティングで利用者の状況を確認し支援課題などについて情報共有を図り適宜対応できるよう努めた。

8. ご家族との連携

日々、連絡ノートや電話、送迎時等で利用者の様子をお伝えし、ご家庭などの様子を伺い連携を図った。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したため、家族会を再開し、ご家族よりご要望等伺った。

9. ボランティアの受け入れ状況

畑作業のボランティアを2名依頼し野菜の育成や管理などを行った。

10. 課題

- (1) 個別支援の充実
- (2) 地域との関わり・繋がりを深める。
- (3) サービス向上の取り組み。
- (4) 精神障がいの方への利用促進への取り組み。

2023年度 海老名市障害者支援センターあきば事業報告

(指定管理による委託運営)

1. 重点目標の取り組み状況

(1) 利用者主体の支援の充実

意思決定支援の取り組みとして、個別支援計画作成時や日中活動の中で、利用者の要望を聞き取りながら、意思を反映し支援を行った。また、意思の表出が難しい利用者については日々の様子を観察し意思を汲み取るよう努めた。

利用者のストレングスに着目し利用者の強みを活かしながら支援を行なった。

利用者各々の障害特性を理解して支援する為、自閉症支援専門機関の職員によるスーパーバイズを年4回(6月・9月・12月・2月)実施した。

(2) 虐待防止と権利擁護の取り組み

人権擁護チェック表や人権研修を通じ、人権意識の向上を図った。

非常勤職員採用時には星谷会の理念、星谷会職員行動指針の周知、あおぞらプラン、利用者との接し方等の動画視聴のオリエンテーションを実施した。

(3) 人材育成と職場定着の取り組み

管理者、支援課長、主任と分担して他の全職員との面談を行なったが、実施できなかった職員が数名いた。面談の内容としては、目標設定をしてもらったが、振り返りの機会は作れなかった。

(4) 自主製品の開発と販路開拓

7月にマルシェを開催。内容のマンネリ化と今年度から保健所の指示で模擬店販売ができなくなり、規模が縮小してしまった影響もあり、集客力は減少していった。そのため、3月に予定していたマルシェは中止とし、次年度はセルフプロダクトチームを中心にどのような形で販路拡大していくかの検討をしていくこととなった。

生活クラブ主催のイベント(12月、3月)で自主製品を委託販売した。

2. 利用状況

(1) 月別利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生活介護	在籍者数	52	52	52	52	52	52	52	52	51	51	51	
	のべ人数	833	795	859	816	723	770	826	802	788	704	687	783
就労継続支援B型	在籍者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
	のべ人数	269	266	261	249	228	249	268	268	265	233	239	284

年間平均利用率：75.2% (契約者) 一日平均利用者数 51.9人

(2) 短期入所(宿泊)利用状況

契約利用者数	年間のべ宿泊日数	利用率
97名【新規契約者+11名】【GH入居等-12名】	1253日(昨年+175日)	73.8%(昨年+21.3%)

(3) 日中一時利用状況

契約利用者数	年間利用のべ日数	利用時間数
46人(昨年+2名)	485日(昨年+173日)	832時間(昨年+160.7時間)

(4)利用者状況（2023 年度末現在）生活介護 51 名、就労継続支援 B 型 18 名

年齢分布

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	1	12	12	13	3	0	41
女性	0	9	7	4	5	2	28

平均年齢

男性平均	36.2
女性平均	39.6

障害程度区分

区分	区分なし	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均
人数	2	2	8	26	19	12	4.3

障害等級別状況

区分	A 1	A 2	B 1	B 2
人数	30	19	9	4

送迎サービス実績

延利用件数	16,468 人	前年度-96 人
-------	----------	----------

3. 活動内容

新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行したため、バザーへの参加や日帰り外出を再開した。

受注活動では、ダンボールの組仕切り、エコキャップの色分け、タオルのたたみ、市内国分寺跡除草、綾瀬浄水場除草、DVD・CD の仕分け作業、アラミド繊維ほぐしの作業を行った。

それ以外の活動では手芸、陶芸、農園芸、散歩、ウォーキング、カラオケ、アート、スヌーズレン、入浴サービス、納品・引き取り等を提供した。また、事業所内行事として収穫祭（芋煮）、クリスマスイベント、ハロウィンイベント、二十歳を祝う会、マルシェ（7 月）を実施した。

4. 作業会計（2023 年度分）

収入

紙工小師	¥147,118	農園芸	¥30,420
Tシャツ	¥45,405	手芸	¥40,850
たすけ愛ゆずり愛	¥9,204	自動販売機	¥18,150
エコキャップ	¥7,925	陶芸	¥7,750
アラミド	¥0	パソコン受注	¥70,563
河端商店	¥7,425	厚木 Asd、マミーズ	¥4,132
図書取次業務	¥396,000	Tシャツ	¥45,405
アクアレイズ	¥81,440	マルシェ他	¥174,600
都市環境サービス	¥165,179	バザー	¥38,110
空き缶、共同受注	¥42,330	その他	¥799
はみんぐ	¥1,629,800	利子	¥5
綾瀬浄水場除草	¥54,260	前年度繰越金	¥32
国分寺除草作業	¥466,638		
合計		合計	¥3,438,135

支出

材料費	¥1,005,292	利用者賞与	¥1,123,933
利用者給与	¥1,301,840	銀行手数料	¥7,040
合計		¥3,438,105	
収入	支出	次年度繰越	
¥3,438,135	¥3,438,105	¥30	

利用者平均工賃支給額

- 2,212 円／月【生活介護】（前年度-12 円）
- 5,509 円／月【就労継続支援 B 型】（前年度-911 円）
- 3,061 円／月（生活介護＋就労継続支援 B 型）（前年度-148 円）

5. 給食

給食は業務委託により提供している、利用者の食事形態等については見直しが必要な際には業者に依頼し対応した。毎月 1 回のセレクトメニューを実施した。給食委員会を 6 月に開催し、利用者や職員の要望を伝え改善を図った。

6. 健康管理

看護師により 2 か月に 1 回体重測定及び血圧測定を実施。年 4 回の嘱託医検診の他、歯科検診、健康診断をそれぞれ年 1 回実施した。
 新型コロナワクチン接種 1 回目を 7 月に実施。2 回目を 10 月に予定していたが市からのワクチン供給不足により中止となった。
 新型コロナウイルス感染状況として、6 月に職員 4 名・利用者 2 名、9 月に利用者 3 名、1 月に職員 8 名・利用者 15 名が陽性となった。何れの期間も事業は通常通り継続した。

7. 防災

「火災」を想定した避難訓練を 2 回行い、防災訓練に際しては、事前、事後の職員間での話し合いを行い、利用者のスムーズな避難ができる方法の模索を繰り返し行ってきた。また、消火器の取り扱いについての体験を訓練時に行った。法人全体での通報訓練を 10 月に実施した、前年度課題として実施出来なかった風水害についての訓練を実施した。

8. 地域との連携

カフェ“はみんぐ”での飲食販売、市内図書館の本等の貸し出し・返却の取次業務、海老名市農政課主催の野菜販売を継続して実施する中、地域の方々との交流を図った。土曜営業は毎月 1 回実施した。
 「えびな・この街でくらそう」を 4 年ぶりに開催。また、生活クラブステーション海老名さんのイベントで自主製品の委託販売を 2 回実施した。

2023年度 グループホーム事業報告

(みずき しおん とんぼ かぶとむし はなきりん てんとうむし ほたる)

1. 重点目標の取り組み状況

(1) 支援体制の見直しと質の向上

各ホームの状況を常勤会議で確認すると共に、課題の1つである世話人の人員不足について、常勤スタッフが協力しサポートしてきた。また、会議等での状況報告を通して他事業所からの応援要請を行い法人全体のサポートを受けている。1年を通じて世話人の募集を行い、紹介等により人員配置課題を徐々にではあるが解消してきている。安定的なグループホーム運営に向けた課題の解消に向け引き続き世話人の定着に努めたい。また、支援計画やモニタリングについては重点的に検討を重ね整えてきたが、次年度に向けた支援計画書式の検討を行い利用者の意思をより反映する事を目的に支援計画書式を刷新している。引き続き利用者理解に努め、関係者会議や支援検討会など専門性を高めていく事と世話人への「学びの場」とした研修会の実施などが今後の課題とされる。

(2) 人権意識の向上

グループホームホームの暮らしは、世話人が支援にあたる場面が多い環境となる。その為、常勤支援スタッフがコミュニケーションを図りながら、ホーム会議・連絡ノートなどを活用し、状況把握や人権意識の向上などの取り組みを行っている。ただ、世話人の直接的支援の確認は難しい背景から、状況の確認や支援方法を伝えるためにも常勤支援スタッフと世話人の関係性も重要になっている。また、福祉的理解がなかなか定着しない側面と丁寧な積み重ねが求められるなど課題も大きく、ホーム会議の参加や研修提案など世話人全員の参加が難しい状況だが啓発の方法について工夫していく必要がある。サービスの向上を念頭にした上で、人権に関わる利用者支援の理解については継続的な意識向上への取り組みが必須となる。

(3) 管理・運営について

個別支援計画及びモニタリング等の重要書類の運営など、海老名市内に点在するホームにおいて、ドロップボックスの活用は情報共有の有効な手段となった。また、書類作成は、各ホームの常勤支援スタッフが作成を行うが、検討や共有する場面が限られていた為、変則勤務上で会議調整を行うなど支援に関わる検討の機会を意識的に設けてきた。今後も、常勤支援スタッフがグループホームでの役割について確認しながら協力的な体制を整えたい。

(4) 入居者の定員の充足 (2024年3月1日現在)

2023年度は、とんぼ1名、しおん1名、ほたる1名の入居者の受け入れをおこなった。現グループホーム欠員状況として、とんぼ1名(男性)、ほたる1名(男性)だが、体験室として使用されていた、しおん個室も利用者居室として提供を検討している。

ただ、課題として世話人の配置不足から、とんぼの閉所が長期的になっていること。また、

2024 年度末に夜勤世話人が数名定年となることもあり、後任の採用と定着が大きな課題となっている。

(5) 感染症対策

通所事業所のクラスター感染をきっかけに、かぶとむしも感染拡大し、一時的な閉所を余儀なくされている。帰宅が出来ない利用者様は、とんぼの空床を活用し感染拡大を防ぐ一助とした。常勤会議の年間計画に感染症対策として、感染症について検討やノロウイルスなどの対処方法など、常勤支援スタッフから各ホームの世話人へのレクチャーをしていく。

2. 余暇の充実

- (1) 個別のニーズに合わせたガイドヘルパーの活用をサポートした
- (2) 年間共通のイベントとして、クリスマス会の実施を行った。各ホームの状況に合わせた計画立案や利用者のニーズに合わせた企画を行っている。

3. 健康管理

- (1) 健康診断や定期通院の実施を行っている。また、訪問歯科を招き、定期的な歯科受診の機会を設けた。利用者様の加齢に伴う通院同行が増大しており、勤務配置上の通院同行に課題がある。
- (2) 健康状態の把握、医療機関への付き添いなど、適切な対応に努めた。
- (3) 看護師の定期的な巡回と、必要に応じた相談、助言や指導を受ける機会を設けた。
また、医療に携わるアドバイスとして、関係者会議への同席などの協力を得ている。

4. 職員研修

法人研修委員会が企画する研修の案内や、ホーム会議で虐待防止や人権に関わる内容の説明をおこなった。研修への参加機会など課題があり、研修受講に関わる調整を実施していく。

5. 防災

法人合同防災訓練及び、年間 3 回のグループホーム訓練を実施した。

6. 地域との関わり

自治会行事への参加等、地域との関わり実施について取り組みが不十分であった。次年度の課題とする。

7. 利用者の状況

入居利用者及び職員配置

住居の名称	定員	入居者	世話人 生活支援員	日中活動の場	
みすき	みずき	4人	4人(女)	5人	デイ
	しおん	4人・体験1人	4人(女)	8人	民間会社、デイ
	とんぼ	5人	4人(男)	7人	デイ

はな きりん	かぶとむし	9人	9人(男)	7人	就継B、民間会社、デイ
	はなきりん	8人	8人(女)	5人	民間会社、デイ
	てんとうむし	9人	9人(男)	7人	学園、デイ
	ほたる	7人	6人(男)	6人	民間会社、デイ

障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
みずき				1	1	2
しおん		1			2	1
とんぼ				2	1	1
かぶとむし			4	2	3	
はなきりん		1		3	3	1
てんとうむし			1	4	2	2
ほたる			3	3		

利用実績(実利用日数)

	年間利用日	前年比	年間利用率
みずき	1,236日	+49日	104.1%
しおん	1,140日	+219日	123.7%
とんぼ	802日	+480日	249.0%
はなきりん	2,577日	-34日	98.7%
てんとうむし	2,508日	+48日	101.9%
かぶとむし	2,947日	-2日	99.9%
ほたる	1,488日	-186日	88.8%

2023年度 ホームいこい事業報告

2023年4月より、特定非営利活動法人生活支援の会から社会福祉法人星谷会へ移行した年度であった。ホームの入居者で、いこいといずみが1名ずつ欠員となっているため入居者の公募を行った。応募者の体験入居を行ったが、本入居には至らなかった。次年度上半期は、欠員を補うことを優先課題として取り組みたい。

1. 重点課題に対する取り組みと評価

- ① 可能な限り、話し合いを基本としてご本人が希望する生活を支援します。
→毎月のホーム会議で利用者の状況をモニタリングを行い、6ヶ月の個別支援計画モニタリングでサビ管と本人が計画の内容を確認、更新をした。
- ② 個別性を尊重するとともに障害特性を理解する事に努めます。
→動画研修教材を使用してミニ研修を実施し、利用者の障害特性を理解する取り組みを行った。また、人権擁護の観点から、虐待防止研修、身体拘束防止に関わる研修を実施した。
- ③ 事故のない、安心できる場所、そして快適な場所を提供します。
→事故が発生したらすぐにサービス管理責任者、管理者への連絡と指示を仰ぐ流れを再確認し、事故報告書の作成と会議での再発防止の検討を行った。また、ホームの修繕関係も不動産業者と連携を取り、快適な生活環境を提供した。

2. 支援内容

- ① 個別支援計画に沿って支援します。
→毎月のホーム会議にて利用者の生活状況を確認するモニタリングを実施し、計画に沿った支援を実施した。
- ② 健康に配慮し、本人のし好に沿った食事提供をします。
→毎日のバイタル測定・体重測定を実施、看護師による隔週の健康チェックを実施した。また、各自のBMI値を管理栄養士にみてもらい、提供している食事の栄養価についてもアドバイスをもらった。

3. 健康管理

- ① 年1回の健康診断を行います。
→法人内通所事業所において健康診断を受けた。
- ② 看護師による日常的な健康管理を行い、必要に応じて適切な対応をします。
→毎月隔週で健康チェックを実施した。
- ③ 感染症対策を徹底し、予防に努めます。
→日々の感染症対策（うがい・手洗いの励行）を行い、予防に努めた。

4. 職員研修

- ① 法人の規程に沿って採用時の研修及び虐待防止の研修を行います。
→2024年2月8日基幹相談支援センター主催の「虐待防止研修」に25名参加。

→2024年2月26日法人主催「虐待防止及び身体拘束適正化に関する基礎理解」に管理者が参加し、3月の各ホーム会議にて伝達研修を実施。

② 年間の研修計画に沿って研修を行います。

→7月：ミニ研修「熱中症対策について」 9月：ミニ研修「てんかんについて」を実施

→2024年2月22日法人全体研修「実践報告会」いこい利用者の実践発表・参加。

5. 会議及び委員会

① 管理者、サービス管理責任者及び世話人の会議を毎月1回行います。

→各ホームの毎月の会議を実施した。

② 住居毎のスタッフにより会議を毎月1回行います。

→上記の会議と併せて実施した。

③ 法人の会議、委員会に参加します。

→法人リスクマネジメント委員会へ管理者が参加をした。

6. 防災対策

① 法人の防災計画に沿って研修、訓練等を実施します。

→8/1 ホームいずみ避難訓練実施（火災想定）利用者3名・職員4名 計7名参加

→9/28 ホームいこい・ひかり避難訓練実施（火災想定）利用者9名・職員5名 計14名参加

→10/2 法人防災訓練へ参加（地震想定での避難訓練・報告訓練）

→3/5 ホームいずみ避難訓練実施（火災想定）利用者3名・職員3名 計6名参加

→3/13 ホームいこい・ひかり避難訓練実施（火災想定）利用者7名・職員5名 計12名参加

② 防災機器については定期点検を外部業者により実施します。

→10/23・3/25 御幸防災設備が定期点検実施した。

③ 防災備品及び非常食について準備し、適切な管理を行います。

→非常食・保存水を3ホームへ購入・設置した。

→海老名市地域防災拠点事業の補助金を活用し、ポータブル電源を3ホームに購入した。

7. 利用者の状況

入居利用者及び職員配置

住居の名称	定員	入居者	世話人 生活支援員	日中活動の場
いこい	5	5	8	生活介護
ひかり	5	4	8	生活介護・就労B型（外部y）
いずみ	4	3	7	生活介護・就労B型

障害支援区分

住居の名称	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
いこい				2名	2名	
ひかり			1名		4名	
いずみ					3名	

利用実績（実利用日数）

住居の名称	年間利用日	年間利用率
いこい	1,187日	81.3%
ひかり	1,666日	91.2%
いずみ	1,056日	96.4%

生活支援センターステップ 事業報告

1. 重点課題に対する取り組みと評価

- ① 利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。

→複数のヘルパーが関わっても同等内容の支援が行えるように指示書を作成し、関りのポイント等、利用者の立場に立ったサービス提供を行った。

- ② 地域との結び付きを重視し、市町村、他の障害福祉サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。

→相談支援事業所からのモニタリング会議等に積極的に参加をして連携を行った。

→海老名市障がい福祉課と密に連絡を取り、新しい「かながわシステム」の導入に際し、連携を図った。

→海老名市障がい福祉サービス合同事業所説明会に参加し、他事業所との連携を深めた。

2. 健康管理

- ① 感染症対策を徹底し、予防に努める。

→日々の感染症対策（うがい・手洗いの励行）を行い、予防に努めた。

3. 職員研修

- ① 法人の規程に沿って採用時の研修及び虐待防止の研修を行います。

→2024年2月8日基幹相談支援センター主催の「虐待防止研修」に5名参加。

→2024年2月26日法人主催「虐待防止及び身体拘束適正化に関する基礎理解」に管理者が参加し、3月の事業所会議にて伝達研修を実施。

4. 防災対策

- ① 法人の防災計画に沿って研修、訓練等を実施します。

→10/2 法人防災訓練へ参加（地震想定避難訓練・報告訓練）

- ② 防災備品及び非常食について準備し、適切な管理を行います。

→海老名市地域防災拠点事業の補助金を活用し、ポータブル電源を購入した。

5. 会議及び委員会

- ① 管理者、事務員、コーディネーターの会議を毎月1回行います。
→毎月、午前に「事務管理会議」、午後に「地域生活支援会議」を実施した。
- ② ヘルパー会議を年3回実施します。
→6/23・10/20・2/16にわかば会館にてヘルパー会議を実施した。
- ③ 法人の会議、委員会に参加します。
→管理者が、法人リスクマネジメント委員会に参加した。

6. 利用状況（実績）

【上期】

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
移動支援	220件	186件	175件	163件	150件	153件
日中一時	241件	237件	132件	168件	121件	112件
レスパイト	1件	1件	2件	2件	2件	1件
ステップサポート	35件	35件	51件	36件	48件	28件

【下期】

事業名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
移動支援	155件	168件	152件	134件	126件	142件
日中一時	113件	119件	111件	95件	98件	112件
レスパイト	3件	2件	1件	1件	2件	2件
ステップサポート	26件	45件	34件	30件	40件	48件